「地方創生カレッジ　on ワーケーション」 ワークショップ等の成果のポイント

1. テーマ

「ワ―ケーションを契機とした地方創生」をテーマに、ワ―ケーションの基礎知識の理解と受入地域の多様な実践事例を通してワ―ケーションが地域にもたらす様々な可能性について考える。

2. 現状と問題点

新型コロナウィルス感染症の拡大により、テレワークやワーケーションといった新しいワークスタイルが急速に普及している。ワーケーションに取り組む地域も急増している。しかしながら、ワーケーションに取り組む目的や取組内容が多様であることから、

・ワーケーションとは何か、何をするのか、といった理解が地域・人によってバラバラ、何から始めるか、もまちまち（だから調整が必要）
・なぜワーケーションに取り組むのか、という方針を地域関係者で整理できていないので、ターゲットも取組内容も定まっていない
・ワーケーションには4つのステークホルダーが存在するが、それぞれどんなニーズがあるか、理解していない

などの問題点がある。

3. 目指すべき方向性、その実現に向けた具体的施策

講義や先進事例から、ワーケーションについての基礎的な知識を学び、事例によって目的や進め方が異なることなどを理解した。そして各々が自身の地域にふさわしいワーケーションの目的や取組内容を検討した。

・ワーケーションに取り組んでいない地域では、取り組み目的、種類、具体的なターゲットとそれらの選定理由を検討したが、実現に向けて課題となりそうなこととして、（1）目的や方針等の整理・共有，（2）推進体制づくり，（3）地域事業者の協力，（4）コーディネータ機能が挙げられた。

・すでにワーケーションに取り組んでいる地域では、ワーケーションに取り組む目的や地域への効果を再確認し、具体的な事業案を検討した。事業案には（1）事業名(取組名)、（2）ターゲット、（3）ワーケーションの種類、（4）この事業の目的、（5）具体的な内容、（6）活用してみたい補助事業等を盛り込んだ。市観光公社のコーディネート機能強化、地域交流型・地域課題解決型のアグリワーケーション、SDGs人材育成研修ワーケーション、温泉郷の既存施設を活用した一般利用者向けコワーキングスペースと企業向けサテライトオフィス整備、地域住民による交流の場を創出するイベントの定期的な開催などが提案された。

4. 今回のワークショップやディスカッションを通じて得た気づき

今回の研修で得た学びとして挙げられたものは、

●ワーケーションについての先入観がなくなり、現状を理解できたこと。（地域によって受入も戦略もことなり多様なメニューがあること）

それを踏まえたうえで、

●ワーケーションの目的やターゲットを地域内で明確にすることが重要
●ワーケーション取組みは地域特性を活かすことが重要
●4つのステークホルダーの存在を意識し、それぞれの目線をもって取組を検討することが重要（受け手側の立場に立った情報発信、利用者ニーズに沿ったプランの提案、受入地域においては関係人口の創出から移住定住に繋がる仕組み作りなど）
●ワーケーション・コーディネーターの役割

「地方創生カレッジ on ワーケーション」 ワークショップ等の成果のポイント

5. 成果スキーム図

事例　茨城県かすみがうら市
かすみがうら版ワーケーション実証プロジェクト「幸せな働き方、考えてみませんか？場所にとらわれない柔軟な働き方」

【Ⅰ　地域課題の認識】

- 平日の集客
- 一次産業 後継者不足
- 雇用確保
- 滞在の仕掛け 日帰り→宿泊
- 働き方改革 (ﾃﾚﾜｰｸ推進、生産性向上等)

かすみがうらの魅力を PR したい
新事業創出や企業誘致等を実現したい

地域と企業がつながることが重要
関係人口を創出する仕掛け作りが必要

情緒あふれる古民家ホテル『江口屋』がある！

ワーケーションを仕掛けよう！

【Ⅱ　これまでの取組・反省と研修で得た学び】

R3年度の取組
1. 3回のモニターツアーの実施
2. 観光周遊ﾀｸｼｰ、乗車料助成
3. 企業版ふるさと納税の活用

【地方創生カレッジ onワーケーション】

- 1回 基礎知識と現状を学ぶ
- 2回 先進事例から学ぶ
- 3回 事例発表 意見交換

【研修の学びを次の取り組みへ】

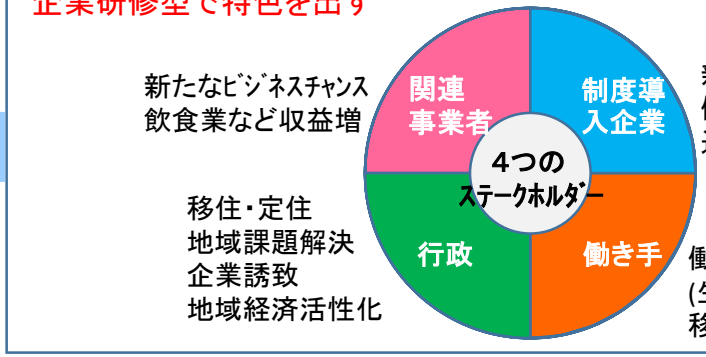
①実績（R3年度）
ﾓﾆﾀｰ実証 でもあり、ﾀｰｹﾞｯﾄも幅広く、様々なﾃｰﾏ で取り組んだ

②研修からの気づき
ﾀｰｹﾞｯﾄや目的を絞る 必要がある。
4 つの ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰへのﾒﾘｯﾄ が必要

ターゲットの明確化
4つのステーク
ホルダーの目線

③今後に向けた改善
地域との交流に重きを置いた課題解決型や企業研修型で特色を出す

ワーケーションの
取組みは地域特性を
活かすことが重要



関連事業者：新たなﾋﾞｼﾞﾈｽﾁｬﾝｽ 飲食業など収益増
制度導入企業：新たなﾋﾞｼﾞﾈｽﾁｬﾝｽ 働き方改革 進出のきっかけ
行政：移住・定住 地域課題解決 企業誘致 地域経済活性化
働き手：働き方改革 (生産性向上 移住・定住)

【Ⅲ　今後取り組んでみたいこと】

テーマを絞った長期滞在 の仕組み作り＝ 研修型ワーケーション！

- 森林再生から学ぶSDGs 人材育成 ワーケーション
- 地域体験 留学 with 親子 ワーケーション
- 農業 関係者向けワーケーション（アグリワーケーション）

長期滞在による地域への効果

- 新たなﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟの構築
- 地域課題解決
- 新たなﾋﾞｼﾞﾈｽの創出
- 企業進出
- ﾘﾋﾟｰﾀｰ増による地域経済活性化